



ネクスト環境 2人目の環境計量士(濃度)誕生!

2016年7月6日、弊社の漆山保さんが環境計量士(濃度)の資格を習得しました。武田社長に続き、弊社で2人目の計量士となります。今回はその漆山さんに、お話を聞きました。



実際に受験する中で、苦労したこともあったと思います。どんなことがありましたか。

試験問題に関しては、過去問を解くことである程度傾向をつかめたので、対策を考えることができました。ただ、時間的に仕事と勉強の両立が難しく、時間のやり繰りは工夫しました。

また、私の場合、試験当日の体調管理も課題でした。最初の受験の際は、頭が回転し始めるのに時間がかかってしまい、午前中の科目を落としてしまうという苦い経験をしました。そのため、試験日付近のスケジュールの管理や、栄養補給のタイミングなどを工夫し、試験時間中にしっかり頭が働くよう調整しました。

環境計量士(濃度)資格習得おめでとうございます。現在の心境はどのようなものですか。

とりあえず、ほっとしています。試験前は慌ただしい生活が続いたので、やっと一息といったところです。

分析関連の資格の中でも習得が難しいといわれる環境計量士ですが、なぜ資格を取ろうと考えたのですか。

この業界で働いていく中で、「この資格は必要だ」と強く感じたからです。また環境計量士の資格を取ることで、他の資格が取りやすくなることも魅力的でした。

資格を習得し、今後はどのように活動していきますか。

現在は環境計量士(騒音・振動)の資格習得のために勉強を進めています。両方の資格を持つことで、自分のできることの幅が大きく広がるため、こちらの資格もぜひ習得したいと考えています。また各種講習に参加し、その他の資格も計画的に習得していく予定です。

H28年度 秋 各種大会・研修に参加しています

毎年9~11月頃の秋期は各種大会や研修が多く開催される季節です。弊社メンバーも様々な大会や研修に参加し、知識や技能を各々磨いています。今期参加した大会・研修について取り上げます。

平成28年度 東北・北海道計量大会 第65次 東北六県北海道計量協会 連合総会

毎年開催される東北・北海道ブロックの計量大会・総会ですが、今年は地元山形県での開催でした。様々な内容の議題が挙がりましたが、放射線、放射能関連の議題が印象に残りました。放射性物質の問題は東日本大震災以来、東北ブロックでは非常に身近なものとなっています。政省令の見直しを含め、できるだけ速い対応が求められています。

特別講演は鶴岡市立加茂水族館前館長、村上龍男氏の講演でした。苦しい経営の中、必死の努力や斬新なアイデアで困難を乗り越え、世界一のクラゲの水族館まで上り詰める過程を中心とした内容でした。ユーモアを交えた独特の語りにも自然と惹きつけられる講演でした。



作業環境測定士 実務向上研修会

10月27・28日に行われた作業環境測定士の研修会も、今年度は山形県での開催でした。(偶然ではありますが、両方地元開催というのは非常に珍しいことです。)

研修会では、去年新たに測定物質となった RCF が取り上げられました。まだ情報・測定経験が少ない物質であるため、様々なことを学ぶことができました。

RCF(リフラクトリーセラミックファイバー)について

RCFは人造鉱物繊維の一種で、耐火材などに使用されています。平成27年11月の特定化学物質障害予防規則・作業環境測定基準等の改正により、特定化学物質の第2類物質・特別管理物質となっています。

人造鉱物繊維には他にもロックウールやアルミナ繊維など多数ありますが、平成28年11月現在、法規制の対象となっているのは RCFのみとなります。

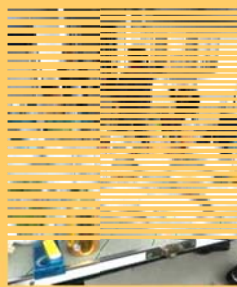
平成28年10月31日で猶予期間が終了するため、11月からは RCFの製造・加工を行う屋内作業所には、作業環境測定が義務付けられます。

◎ RCFの作業環境測定のご相談は弊社まで!

毎年恒例 芋煮会

9月6日、毎年恒例の芋煮会を行いました。あいにく天候は雨でしたが、急遽漆山(智子)家のカーポートをお借りし、無事に開催されました。今年は食べ物が豊富で、芋煮に加え、カルビ・タン・ホルモンなどの肉、新鮮なホタテやエビなどの海鮮をいただきました。また、寒さに負けずお酒もたくさんのみました。

少し肌寒い中での開催でしたが、温かい芋煮とおいしいものにほっこりしながら、皆で親睦を深めることができました。来年度は河原にてもっと盛大な芋煮会を開催できるように、日々の業務に励んでいきたいと思えます。



芋煮のいもはなぜサトイモ??

東北地方では毎年 10 月頃がサトイモの収穫の時期です。「芋煮会」がこの収穫にあわせて行われることはもちろんですが、サトイモの保存にも関係があります。サトイモは、温度が低すぎても高すぎても保存が出来ない芋です。そのため昔は、冬の寒さが厳しい東北地方では保存が大変難しかったようです。寒くなり、サトイモが食べられなくなる前に、サトイモを消費してしまいたいという背景もあり、「芋煮会」という風習が出来たようです。

社員コラム Vol.5

漆山 保の航空自衛隊松島基地 体験記



去る 10 月 19 日 (水)、縁あって航空自衛隊の松島基地を見学しました。直接松島基地に行けないため、神町の陸上自衛隊の広報センターに集合後、バスに乗り総勢 12 名での見学となりました。当日、松島は非常に天気が良く、風も心地よく絶好の見学日和でした。

松島基地に到着後、守衛場の津波到達ラインの掲示をみたり、所々にモニュメントとして残っている震災の爪痕をみたりしたことで、震災の記憶と復興の気概を感じ取ることができました。

当初の予定ではブルーインパルスBlue Impulseの訓練飛行の見学でしたが、スケジュール変更で訓練飛行は洋上で行われ、実際に目で見る事はできませんでした。その代わりに、整備含めた離陸準備から離陸までの一連の作業を実際に見る事ができました。これは広報の方も中々ない事だと話してくれました。ブルーインパルス (T-4)、F-2 戦闘機共に 1 機あたりのエンジン音が凄まじく、それが 4 台そろって稼働している様は圧巻の一言で、「耳を聳せんばかりの音」とはこの事かと初めて感じました。

他には整備中の F-2 戦闘機の機体とコックピットを見る事が出来ました。一部見られない箇所があったものの、滅多にお目にかかれないだけに感動も一入でした。

最後に管制塔を見学した際、こんな話を聞きました。『松島基地は訓練生(主に新人)の飛行練習が主な役割です。そのため実際に出動するよりも、「音がうるさい。」と電話をかけてくる隣人の対応が日常茶飯事です。』もちろん笑い話ですが、印象に残りました。

なお他の基地や陸自・海自も広報センターに電話をかければ見学対応をして頂けるそうです。機会があればまた見学したいと思える体験ツアーでした。



山形県自衛隊退職者雇用協議会 航空自衛隊松島基地研修 平成28年10月19日(水)

ネクスト環境の壺... (編集後記)

今年も皆様のおかげで良い一年を過ごすことが出来ました。改めて御礼申し上げます<m(_ _)m>。今年一年を振り返ってみますと、まさに『飛翔』の年だったのではないかと感じています。新しい機器の導入や新戦力の加入により業務処理能力も飛躍的に向上し、お客様に満足していただける体制も整いました。

これに慢心することなく、今後とも日々精進をつづけていきたいと思えますので、今後ともネクスト環境コンサルタント及びこのNKC通信を末永くご愛顧くださいますようよろしくお願い申し上げます。では、皆様良いお年を!!!

(文責 編集長：小関)

